

記入例・注意事項

「立替払」とは、教職員等が自費で支払を行った後、大学予算からその立替分を支給する方法です。請求書払が不可能な場合の緊急的な手段であり、やむを得ない場合にのみ適用範囲が限定されています。

立替払請求書

なぜ立替払にする必要があったのかという理由を具体的に記入。

【ダメな例】

- ・「現金払いのため」×
・「至急必要であったため」×
・「安かったため」×

東京大学 殿

金 10,000円

1. 立替払の事由

学会参加費の支払方法が当日会場での現金払いのみだったため

2. 立替払の内容（内訳）

第〇回〇〇〇学会参加費

3. 立替事項の完了年月日

平成28年7月5日

検収確定書の執行日（発注日）

- ・取引の完了した日付を記入。
・クレジットカード払いの場合は、口座引き落とし日ではなく、カード明細中の立替払請求する取引のご利用年月日を記入。

4. 支払経費

- ・大学運営費：
・受託研究費：
・各種補助金：科学研究費 基盤研究（B） 〇〇〇〇
・寄附金：

・立替払完了後、必要書類を揃えて請求する日付を記入。

上記の金額を立替払しましたので、関係書類を添付の上、請求いたします。

平成28年7月7日

所属講座：〇〇〇〇〇
身分・氏名：〇〇 〇〇 印

（証明及び承認欄）

・立替人の請求日同日かそれ以降の証明・承認日を記入。

上記のとおり、相違なく立替払したことを証明及び承認いたします。

平成28年7月8日

検収確定書の検収日（仕訳日）

所属講座：〇〇〇〇〇
予算責任者等・氏名：▲▲ ▲▲ 印

（振込口座確認欄）※必ず記入してください。

Table with 4 columns: 振込先銀行名, 銀行, 支店, 預金種別. Includes rows for 口座番号 and コウザメイギ (カナ).

（注）事由については、立替払とした理由を詳しく記入すること。
証明者は立替払の事実を確認できる状況にあった者、又は直属の上司等とする。
振込口座確認欄には、すでに登録されてある振込口座を記入すること。

記入例・注意事項  
(外貨建立替払のレート)

外国送金の為替レートは月平均をとることになっていますが、外貨建立替払の場合は立替払請求書の承認日の日別レートを採用することになっています。

立 替 払 請 求 書

東 京 大 学 殿

・請求書作成時点では、レートの換算日が確定していないため、外貨のまま記入。

金 100USドル

1. 立替払の事由

学会参加費の支払方法が当日会場での現金払いのみだったため

2. 立替払の内容 (内訳)

第〇回〇〇〇学会参加費

なぜ立替払にする必要があったのかという理由を具体的に記入。

【ダメな例】

- ・「現金払いのため」×
- ・「至急必要であったため」×
- ・「安かったため」×

3. 立替事項の完了年月日

平成28年7月5日

検収確定書の執行日(発注日)

4. 支払経費

- ・大学運営費：
- ・受託研究費：
- ・各種補助金：科学研究費 基盤研究(B) 〇〇〇〇
- ・寄附金：

・立替払完了後、必要書類を揃えて請求する日付を記入。

上記の金額を立替払しましたので、関係書類を添付の上、請求いたします。

平成28年7月6日

所属講座：〇〇〇〇〇

身分・氏名：〇〇 〇〇 印

(証明及び承認欄)

・立替人の請求日と同日かそれ以降の証明・承認日を記入。

上記のとおり、相違なく立替払したことを証明及び承認いたします。

平成28年7月7日

検収確定書の検収日(仕訳日) = 日別レート換算日

所属講座：〇〇〇〇〇

予算責任者等・氏名：▲▲ ▲▲ 印

(振込口座確認欄) ※必ず記入してください。

振込先銀行名	〇〇〇〇〇 銀行	〇〇〇 支店
預金種別	1. 普通預金	2. 当座預金
口座番号	〇〇〇〇〇	
コウザメイギ(カナ)	〇〇〇〇〇	

(注) 事由については、立替払とした理由を詳しく記入すること。

証明者は立替払の事実を確認できる状況にあった者、又は直属の上司等とする。

振込口座確認欄には、すでに登録されてある振込口座を記入すること。

・レート計算は、証明及び承認日当日の、本学が利用する三井住友銀行の日別TTSレートにより行います(小数点以下切り捨て)。

【例】日別TTSレート(7月7日) 101.98円/USD  
伝票計上額 101.98×100ドル=10,198円